

国指定史跡

「萩外荘（近衛文麿旧宅）」

展示休憩施設棟建設に伴う  
基本設計及び実施設計業務委託

# 公募型プロポーザル

実施要領公表

参加表明書・企画提案書 受付開始

**2022.04.15** [Fri]

現地見学会

**2022.04.20** [Wed]

参加表明書 提出締切

**2022.05.13** [Fri]

企画提案書 提出締切

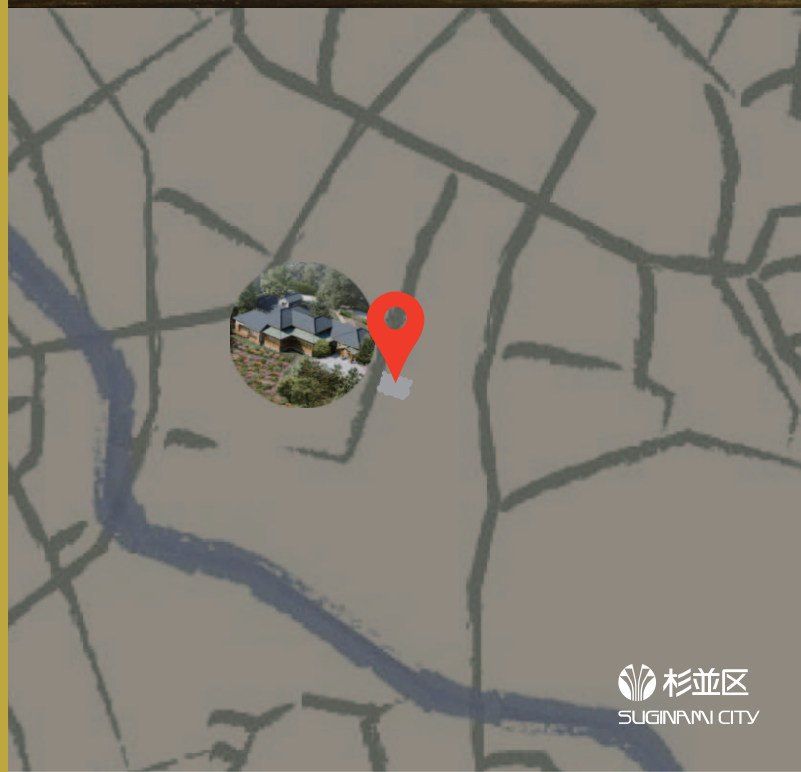
**2022.05.20** [Fri]



2022.4.15 公表



昭和初期の萩外荘（個人提供）



# 概要

本プロポーザルは、伊東忠太が設計し、激動の時代に首相官邸の役割を果たした「荻外荘（てきがいそう）」を活用し、整備する史跡公園「(仮称)荻外荘公園」(令和6年12月開園予定)に**新たに建設する展示休憩施設棟の設計業務**を受託する事業者を選定するために実施するものです。

## 「荻外荘復原・整備プロジェクト」のご紹介

杉並区荻窪の閑静な住宅街にある「荻外荘」は、昭和2年に建築家伊東忠太の設計により、医師で大正天皇の侍医頭(じいのかみ)も務めた入澤達吉の別邸として創建され、「楓荻荘(ふうてきそう)」と呼ばれていました。昭和12年に、昭和戦前期に3度内閣総理大臣を務めた政治家近衛文麿に譲渡され、近衛の後見人だった西園寺公望により、「荻外荘」と名付けられました。

昭和12年6月に第一次近衛内閣が発足。その半年後には、多くの要人が「荻外荘」を訪れるようになりました。昭和15年から16年にかけては、歴史的にも知られる日本の対外政策の重要な会談がこの地で行われました。そして、太平洋戦争終戦後の昭和20年12月、GHQに出頭を命じられた近衛文麿は、「荻外荘」の自室で自決しました。

平成24年2月に、「荻外荘」の所有者であった近衛文麿の次男通隆氏逝去ののち、地元10町会長の連名で『荻外荘』に関する要望書が杉並区に出されました。これを受け、杉並区は「荻外荘」の土地及び建物を平成26年に取得しました。

平成28年3月には、この地が日本政治史上重要な場所であるとして、国の史跡に指定されました(国指定史跡「荻外荘(近衛文麿旧宅)」)。

建物は、日本を代表する建築家伊東忠太設計による現存する数少ない邸宅建築のひとつです。しかし、様々な改変が加えられたほか、昭和35年には、多くの会談が開かれた客間を含む建物の東側半分が、豊島区内へ移築されました。杉並区は**この部分を再移築し、近衛らが重要な会談を行い、政治の表舞台となった時代の姿を蘇らせるとともに、当時の庭園も段階的に再現し、令和6年12月に史跡公園として公開する「荻外荘復原・整備プロジェクト」を進めています。**

## 計画地について

元々農村だった「荻外荘」が建つ「荻窪」は、明治時代の終わり、その美しい自然環境に惚れ込んだ学者、政治家、財界人などから、英気を養うための「別荘地」として人気を集めました。その後、関東大震災を経て、荻窪は「住宅地」として発展しました。

本計画地は、実業家の山田直矢氏が「別荘地」として購入した広大な土地の一部です。入澤達吉が居住していた「楓荻荘」を、地域の人々は「入澤別荘」と呼んでいましたが、山田家の邸宅も「山田別荘」と呼ばれていたといえます。

富士山をも望める美しい眺めと清涼な空気に恵まれ、伊東忠太の住宅思想が注がれた別荘として創建された「荻外荘」。「荻外荘」の向かいに立地する本計画地も、「別荘地 荻窪」の記憶を伝える土地であったことを踏まえ、施設整備内容を検討します。

# 施設整備にあたって

古くから多くの著名人が居を構えた荻窪には、「荻外荘」以外にも大切に残されている建物が点在しており、まちづくりのキーポイントにもなっています。

なかでも、音楽評論家大田黒元雄氏の洋館(国登録有形文化財(建造物))を活用した「杉並区立大田黒公園」、角川書店創始者角川源義氏の旧邸「幻戯山房」(加倉井昭夫設計・水澤工務店施工、国登録有形文化財(建造物))を活用した「杉並区立角川庭園」は、「荻外荘」のすぐそばにあり、今後整備する「(仮称)荻外荘公園」と合わせて、「荻窪三庭園」としてPRしています。

「荻窪三庭園」周辺を散策すると、住宅の敷地規模や、大切に維持管理されている屋敷林などから、「別荘地」と呼ばれた頃のまちの面影を、今でも感じることができます。

杉並区は、このような恵まれた環境に整備する今回の建物に、気軽に立ち寄れるカフェや、荻窪にゆかりのあるとおきの文化財などをご覧いただける展示スペース、そして、「荻窪三庭園」のイベントコンテンツなどをお知らせする機能も持たせたいと考えています。「荻窪三庭園」に建つ3つの建物と共に語られる場面でも引けを取らないような素敵な建物を、ぜひ整備したいと思っています。

伊東忠太の邸宅建築である「荻外荘」の向かいに建つことになる今回の建物。杉並区では、2つの建物がお互いの素晴らしさを引き立て合い、まちの魅力をも向上させるようなものになればと考えています。

本プロポーザルへのご参加をお待ちしております。

○所在地	杉並区荻窪二丁目42番12号
○敷地面積	約450㎡
○建築物の規模(想定)	延床面積:240㎡~270㎡程度 案内所(ショップ併設) 展示室 カフェスペース 等

詳細は、令和4年4月15日に公表予定の実施要領をご覧ください。

本プロポーザルの参加には、「東京電子自治体共同運営電子調達サービス」の競争入札参加資格者名簿に、申請自治体「杉並区」、営業種目「建築設計」として登録のあることが必要です。未登録の場合には、企画提案書の提出締切日までに、登録に必要な電子申請および申請書類の提出が完了していれば、本プロポーザルに参加することができます。

選定委員会は外部委員3名及び区職員2名の計5名で構成し、建築史、建築意匠、まちづくり等を専門とする視点で選定する予定です。



大田黒公園の洋館



角川庭園 幻戯山房



荻外荘



2022.4.15 公表

## お問い合わせ先

杉並区都市整備部  
みどり公園課

☎(代)03-3312-2111



杉並区みどり公園課  
@suginami\_koen



荻外荘復原・整備  
プロジェクト